

北陸石仏の会々報

第 16 号
平成9年8月25日発行

編集発行

北陸石仏の会(日本石仏協会北陸支部)

代表 久世 嘉太郎

〒939-13 富山県砺波市太田一七七〇 尾田武雄方
電話 〇七六三一三二一―二七七七
振替 〇〇七四〇―二二―一九七四

福井県三国町の石仏巡り雑感

吉川 繁

『越』の国府は、武生に置かれたと歴史が示している。それが、持統三〇六年(六八九〇六九二)頃、越前・越中・越後の三国に分かれた。その以後に『越後国府』は、上越へおかれた可能性が高いと現時点ではいわれている。

更に、上越地方には鎌倉〜江戸時代にかけての、越前・越中石材による石仏が見られる。そのような因縁から、機会があれば



『石の故郷の散策』にと関心をよせていた。

その矢先、平成七年九月三日の『武生の石仏巡り』が北陸石仏の会で企画され、吉村さんと共に参加させて頂く。そして又『三国町巡り』へも、ご

一緒できた。まさに、古代の『越』が取り持つ縁とでも言おうか？
一行は四〇名余で、富山駅から大型バスが運行された。お陰様でこの方面の地理に暗い私達には、気楽な旅で嬉しかった。
午前中に見学した滝谷寺は永和元年(一三七五)に創建され、性海寺は永徳元年(一三八一)に第二世が現在地へ移ったと言われる。共に南北朝時代末よりの真言宗で、境内に祀られた石仏にも見るべきものが多い。

殊に滝谷寺の定印阿弥陀如来坐像・宝篋印塔・十三仏を配した石龕の開山堂、性海寺の善光寺式彌陀三尊・多宝塔・森家の墓塔・竹内氏の墓と海難供養碑・性海寺観音堂下にあったという千手観音等を興味深く拝観した。

午後は、三国神社の石垣や石畳・西光寺の鬼瓦と大仏・金鳳寺の十六羅漢が印象的。最終見学のモダンな郷土資料館が、明治十二年の小学校復元と聞いて流石は三国町と驚いた。

好天下の催しは、私達に充実した一日を恵む。朝倉・柴田・丸岡、福井藩の諸武将と庶民・三国湊の交易・湊街の盛衰等々、歴史の残像を石仏に尋ね求める三国町巡りだった。

お世話頂いた役員さんをはじめ、ボランティア、ガイドさん、そして親切な同行石仏愛好の皆様方に衷心より感謝の意を捧げた。

北陸石仏の会第十六回例会出席者

◇富山県

小竹一夫 大野猪策 前田英雄 前田松代 加藤永子 深山節
 代 佐伯安一 森本朝子 平井一雄 尾田武雄 矢内 彰 中
 野 中島 前田 掛橋 掛橋 岡野 齊藤善夫 林 貞子 岡
 田静子 中嶋照子 坂口ふじ子 小西うさ子 尾田和子 南金

三

◇石川県

南外志雄 細井明
 義 細井好美 高
 田慈久 小坂俊子
 久世嘉太郎 久世
 文子 嶋 板坂
 橋 橋 毛利直枝
 滝本靖士 白田博
 以 上田信子 三

◇福井県

井紀生
 大久保まさ子 辻

◇新潟県

角紀子 北村市朗
 古川繁 吉村博



〈石仏紹介〉 6

魚藍観音

三十三体観音の十番におかれる。観世音菩薩は衆生済度の為に、三十三の姿に変身されると『観音経』に説かれ、この説に基づいて後に作られたもので、典拠は不明とされる。俗にいう三十三所観音とは別のもの。像容は水上の大魚の背に乗る姿と、魚を入れた籃を携える姿とがある。養魚業者、養鯉業者、漁業者などが、魚の供養のために造立する例が多い。ここも新鮮な魚料理で繁盛した料理旅館である。(富山県水見市菟田 魚眠洞北隣)



(柳沢 栄司)

平成8年度決算報告

収入の部

項目	予 算	決 算	備 考
前期繰越金	4,526	4,526	
会 費	200,000	180,500	88×2,000 3×1,500
雑 費	1,474	244	預金利子、その他
合 計	206,000	185,270	

支出の部

項目	予 算	決 算	備 考
事 務 費	27,000	21,630	封筒代
会 報 費	130,000	100,940	No.13, 14, 15
郵 送 費	49,000	47,380	切手代
予 備 費	0	3,060	新潟石仏の会会費
合 計	206,000	173,010	

収入合計 支出合計
 180,500 - 173,010 = 12,260
 次年度繰越金 12,260円
 平成9年3月30日

平 井 一 雄 印

平成9年度予算書

収入の部

前期繰越金 12,260
 会 費 200,000 2,000×100名
 雑 収 入 1,740 利息、その他
 合 計 214,000

支出の部

事 務 費 30,000 事務用品、コピー代
 会 報 費 130,000 会報代
 予 備 費 4,000
 合 計 214,000

役員構成

顧問 京 田 良 志 (富山県)
 会 長 久 世 嘉 太 郎 (石川県)
 副 会 長 北 村 市 朗 (福井県)
 柳 沢 栄 司 (富山県)
 吉 川 繁 (新潟県)
 事務局 長 尾 田 武 雄 (富山県)
 滝 本 靖 士 (石川県)
 大 久 保 ま さ 子 (福井県)
 島 倉 千 春 (富山県)
 監 事 平 井 一 雄 (富山県)

平成9年度事業計画

5月第16回例会 三国 (福井県)
 9月第17回例会 魚津市 (富山県)
 12月 会誌『北陸石仏の会研究紀要』第二号発行
 会報は年3回を目標とする
 新潟石仏の会と連絡を密にする
 会員名簿を作製し、各県の会員同志の連絡を密にする

北陸石仏の会第十七回例会案内

◎月 日 平成九年九月二十八日 (雨天決行)

◎時 間 集合 午前九時三〇分 (JR富山駅北口)

解散 午後三時三〇分 (JR富山駅北口)

◎参加費 五、〇〇〇円 (バス代、資料代、謝礼など)

昼食は各自持参して下さい。

◎申込み はがきで住所・氏名・電話を記入の上左記まで

締切り九月十五日 (月)

千九三九一三

富山県砺波市太田一七七〇

尾田 武雄 気付

北陸石仏の会

TEL〇七六三ー三二一ー二七七二

◎見学所 富山県魚津市天神山周辺の石仏

(八十八ヶ所観音石仏・阿弥陀三尊・金比羅など)

魚津市郷土館、歴史民俗資料館

魚津市小川寺千光寺周辺の石仏

(観音堂・心蓮坊・線刻六地藏など)



ご案内

●会費未納の方は、早急にお送り下さい。

●尾田武雄さんが『砺波散村地域研究所研究紀要』第14号で、「砺波地方に展開する聖徳太子南無石仏」について発表します。

●新潟石仏の会は、会長が阿部茂雄氏から石田哲弥氏に、事務局長は石田氏から荒井昭氏に代わられ、阿部氏は顧問になられました。

●新潟石仏の会「中部地区・道祖神部会合同見学会」が左記のようにおこなわれます。

●中越地区・道祖神部会合同見学会

日時 十月十九日 (日) 九時三〇分～十五時

集合 柏崎市立博物館 九時三〇分 柏崎市緑町八一三五 (赤坂山公園内) TEL〇二五七ー二二一〇五六七

内容 柏崎市谷根の石仏見学会。谷根地区は市内でも有数の石仏の宝庫。道祖神や寒念仏塔、牛頭天王塔など、多様な石仏が集落内に祀られています。ここを見れば柏崎の石仏のエッセンスを味わうことができます。

講師 阿部茂雄先生 (当会顧問)

会費 一、〇〇〇円 (資料代込み・当日徴収)

申込み ハガキにて「谷根石仏見学会参加」を明記の上、氏名・住所・電話番号、自家用車で参加か否かを記し、九月末日までに下記宛先まで送付願います。

送付先 千九四五 柏崎市三島町一六一二

渡辺三四一 TEL〇二五七ー二二一〇一九四一

●京井喜代次著『利賀村の道中地藏』が発刊されました。
●財団法人横浜記念金沢の文化創生財団・全沢市教育委員会などの発行の『金沢市の地藏尊・金沢市地藏尊民俗調査報告書』が出版されました。